

ともに・・・

R7. 11. 6

自ら考え挑戦し ともに高め合う 北杵築っ子の育成

“ボールと友達”に・・・

～大分トリニータスクールコーチによるサッカー教室～

運動会も終わり、授業中は静まり返る運動場ですが、この日はこの運動場で生き生きと弾んだ声がこだましています。10月24日（金）、大分トリニータのスクールコーチ4名が来校し、子どもたちを指導してくださっています。県の企画のプロスポーツ連携事業の取組で、2時間目に1～3年生、3時間目に4～6年生を対象に、サッカー教室を行いました。

2時間目、1～3年生がわくわくした面持ちで、校舎から出ています。運動場には、コーンが狭い間隔で不規則に置かれています。いよいよ教室の始まりです。

はじめは、ウォーミングアップ。たくさん置かれたコーンの間を、友達とぶつからずすり抜けるように、あちらこちらへと移動します。

次は、いよいよサッカーボールを使っての練習です。ボールを蹴りながら、同じコーンの間を、自由に移動するドリブル練習のようです。コーチが「足でたくさんボールをさわりながら、そして、友達や置かれたコーンにはさわらないように移動しましょう」と投げかけ、子どもたちが一斉にドリブルをし始めます。

みんなコーチの言葉をしっかりと意識しているからか、足から離さずドリブルしているようです。コーンや友達にぶつかる子はいません。巧みにボールを操っていて、驚きです。時折コーチが、「足の裏を使っているね。上手！」等、子どもが上手にボールを操っている姿を見つけては、声をかけています。コーチの声を聞いて、さらに上手にボールを操ろうと、一生懸命です。

一通り練習した後、コーチから“ゆっくり蹴って、ボールが足から離れないようにする”“足の裏や内側・外側を使いながら蹴る”というドリブルのコツを教えてください、子どもたちも納得しています。

続いて、シュート練習。ドリブルしてからサッカーゴールにシュートをするようです。はじめは遠くからシュートを放っていた子どもたちも、繰り返すうちに、「どうやら、ドリブルしながらできるだけゴールに近づいてからシュートする方が確実にゴールできる」ことに気づいたようでした。

最後は3年生対1・2年生のミニサッカーゲーム試合。この試合は、多くの子どもがボールに触れることができるよう、コーチが様子を見ながら複数のボール

を投入していきます。どの子どももみんな必死にボールを追いかけています。巧みにボールを操って相手をよけようとする姿やゴールに近づくとシュートを放つ姿があり、前半の練習の成果が発揮される場面を目にし、感心しました。

どの子ども表情が真剣かつ楽しそうで、これまでサッカーにあまり関心のなかった子ども、この日を契機に“ボールと友達”になる楽しさを味わい、関心もより高まったことでしょう。



子どもたちの安全を守るために

～不審者対応避難訓練～

10月29日（水）、避難訓練を実施しました。今回は、不審者が校舎内に侵入したことを想定し、子どもたちの身の安全を確保するために、職員の対応の仕方と子どもたちの避難の仕方を、実践を通し学ぶ訓練でした。

訓練のために、杵築日出警察署や八坂警察官駐在所の警察の方2人が、指導・助言のために来校くださいました。八坂駐在所の方は、不審者役としてもご協力いただきました。

この日の想定は、授業中6年生の教室に入ろうとしている不審者から子どもたちを離し、全校児童を無事に避難させながら警察の到着を待つというものです。

子どもたちは、先生の指示をきちんと聞き、事前に学習していたように、“おはしも”を守り、落ち着いた避難行動がとれていました。

一方、職員の対応については、不審者侵入を管理職に伝える情報伝達と役割分担は、今回計画通りに進められたものの、より短時間で確実なものにする必要性や、子どもを避難させるタイミングの適時性の重要性が再確認できました。

そこで、後日職員のみで訓練を再度行います。今回浮き彫りになった課題を解消し、万が一の時に、全ての子どもたちの安全を守るよう努めてまいりたいと思います。



☆警察の方が、不審者を見分ける言葉【はちみつ】を教えてくださいました

はーはなしかけてくる

ちーちかづいてくる

みーみつめてくる

っーっいてくる